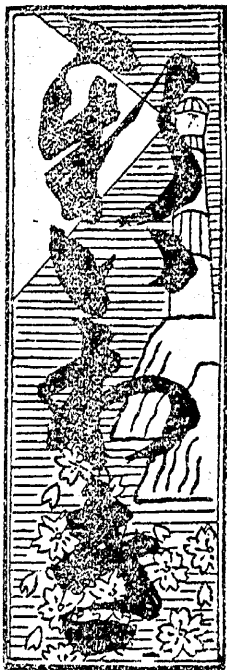


刊夕 日二十月五



好問の悶着を解決 暗渠道路化愈々實現

遂々平町から二百圓を提供 工事は今年秋となる

平町の町通り南裏に於ける
愛谷塚の灌漑堀を暗渠とする
道路化は第一期工事に宇土橋
通りの築築協から南町平館
東部の橋際(警署通り)に至
る延長百八十間を七千五百圓
の工費で昨秋施行の見込み
であつたが好問側から同江
筋の水利権に關して苦情が出
で此の解決でこたゝの爲め
工事の延期を餘儀なくされ
又物價騰貴に際しては同江
筋の流末飯野村谷川瀬方面に
残存する水田三十餘町歩の灌
漑には尙ほ七、八個の水量を
要する事情上その送水に最初
の設計を變へて總工費約三千

平町の合併に 反対陳情者の上京

今朝松本、木田氏外數氏等が 鈴木前代議士の後を追ふ

平町の市制に合併する平達村
一部の反対者が他くまで執拗
に反対運動をなすつゝあるこ
と屢報の如くであるが既に主
務省の出張調査を終了する迄
に進み近く縣議會を以て平達
町に諮問される運びとなつ
たものに對し今十二日朝同反
對者の榎松本徳一、木田源
宗兩氏外數名上京これより先

日刊報日曜日
日休刊一ヶ月廿五
郵料十五圓一圓二錢
廣告料 一行四十錢
發行所 平町大町二三
牛谷政孝
新刊
新刊

常識講座

ドア・ボーイは讀んで
字の如く戸の閉閉に立
つボーイのことだ、大
きな食堂であるとか喫
茶店又は其の他の必要
に於て其の戸口に居つ
て客を送り迎へしてあ
るボーイを指して云ふ

優良消防組員に 精勤章

平署管内で四名
白河町に於て来る十六日開催
される縣下消防組頭大會では
優良消防組員に精勤章を授與

星、鈴木兩氏の戦費 何れも六千余圓

昨十一日平署に提出

第三區選出の衆議院議員選
舉費の法定額は一候補八千余
圓に當るのであるが昨十一日
星、鈴木辰三郎兩氏から提
出された選挙費は左記の如く

新川改修工事順調

商業校や第四小學の建設から 想像される平の南面發展

總工費四十萬圓を以て昨十一
年度から改修に着手した新川
の同工事は前年の七萬圓によ
り内郷村境内常磐線の鐵橋
下から一千五百米が大體完成
に近づき十二年度は同じく七
萬圓を以て平町の尾子橋上流
に及ぶ管である同鐵橋工事は
十五年度まで七萬圓づゝ最終

落札價は高いが 米價は下落氣配

共販の競札に廿錢以上の巾

石城郡販賣昨十一日の米米共
販は昨報の如く一千二十七俵
に氣乗薄の中手持の少ない

藤宗軍 三三點時崎佐七
三〇點會田春雄 三五點
谷市藏 二八點時崎叶

北洋遠征

第五權現丸外九双
石城各濱では離海期に接して
南の海區に遠征出航各船は
同漁の諸準備に活氣立つてあ
るが更に一昨十日は北洋漁業
を目指して江名町仲の作の漁
船第五權現丸外九双が出動し
たと

表彰される無 火災消防

縣消防協會では来る十六日の
白河町に於ける縣下消防組頭
大會に際し無火災消防組を表
彰の答であるが平署管内では
左記三ヶ組が表彰される由

永戸村議改選

石城郡永戸村では去る十一日
村議の改選を行つたが當選者
は左記の如くである

時間勵行申合せ

石城郡江名町では従来の諸會
合に時間勵守の觀念が薄いの
で作山町長は此の程の新議員
の初の町會に之れを町議から
簡を示さうとして勵行を申合
せたと

郷土を把持する苦悶

人間が一切の力の源は、吾
とさゝやいてをるかの如くで
人が常に居住する郷土を自
身である、生れながらに忘れ
ることの出来ない愛着と、斷
ち得ない信仰を有つところの
故郷である、而して悠大黙々
たる自然の景象は、吾人の朝
夕に何を啓示してをるか
郷土を絶対に擁護せよ!

赤井 奇 福

赤井 奇 福
岸から落ちて負傷
石城郡赤井村の消防組員は目
下組員が村内鹽田内村道を
奉仕作業で改修中の工事監督
をしてゐた昨十一日午後二時
頃誤つて高二丈余の崖下なる
夏井川に墮落頭部強打の重傷
を負ひ平町安濟病院にかつぎ
送られて加療してゐるが重態
である

溺死する

兄弟の造つたボート
を浮べて遊びの魔
石城郡勿來町の關田雜貨商信
一孫常二年生根本幸雄(九)
と地鐵道員案次郎三男の尋
常二年生馬と義秀(九)が去る
十日學校から歸つた午後一時
頃手を携へて遊びに出たま
日暮れになつても帰宅しない
ので八方搜索した結果兩人は
幸雄の寶兒營中二年生幸雄が
造つたボートを持ち出し町内の
貯水池に浮べて遊んでゐるう
ち誤つて水に溺れ相抱いて死

江名定期種痘

郡江名町に於ける定期種痘は
明十三日及び十四日の兩日に
施行されると

前科二犯の 賊捕はる

昨夜小名濱で
豊間村の柳町三六生れ當時住
所不定無職窃盜前科二犯四家
真太郎三三は昨十一日小名濱

天 氣 報

今晩は南西の風、曇一時晴
明日は西の風、曇

時 言

郷土を把持する苦悶
(關外三區の選挙を直視して)
勿 來 生

赤井 奇 福

赤井 奇 福
岸から落ちて負傷
石城郡赤井村の消防組員は目
下組員が村内鹽田内村道を
奉仕作業で改修中の工事監督
をしてゐた昨十一日午後二時
頃誤つて高二丈余の崖下なる
夏井川に墮落頭部強打の重傷
を負ひ平町安濟病院にかつぎ
送られて加療してゐるが重態
である

溺死する

兄弟の造つたボート
を浮べて遊びの魔
石城郡勿來町の關田雜貨商信
一孫常二年生根本幸雄(九)
と地鐵道員案次郎三男の尋
常二年生馬と義秀(九)が去る
十日學校から歸つた午後一時
頃手を携へて遊びに出たま
日暮れになつても帰宅しない
ので八方搜索した結果兩人は
幸雄の寶兒營中二年生幸雄が
造つたボートを持ち出し町内の
貯水池に浮べて遊んでゐるう
ち誤つて水に溺れ相抱いて死

江名定期種痘

郡江名町に於ける定期種痘は
明十三日及び十四日の兩日に
施行されると

前科二犯の 賊捕はる

昨夜小名濱で
豊間村の柳町三六生れ當時住
所不定無職窃盜前科二犯四家
真太郎三三は昨十一日小名濱

農業方面

東北でも荷の早期栽培

三月出しが可能
此の秘傳の公開

東北では荷の早期栽培を困難と云ふよりも殆んど不可能なものと諦められてゐるのであるが雪も多く寒さも相當に厳しい地の宮城縣伊具郡角田町に於て同町の篤農家藤田源三郎氏（四）の苦心研究によつて此の早期栽培を見事に成功されてゐる、同氏は荷の早期栽培家として早くから地方に知られてはゐるが熱心な研究と年を重ねる経験が益々同栽培に成績を上げて本年は去る三月九日早出しに成功し一本で八百匁の荷を町の市場に出荷して他を驚かした、その栽培法の大體を上ぐれば次の如くである、

荷の早期栽培で最も重要なものが自然温床のつくり方で華氏六十五度の保温を必要とすることである、温床（十坪程度の場合）の作り方は六、七月頃完成したる薄い人糞（二年ぐらゐ貯蔵したる）を約十四貫目施肥し八月の頃に堆肥十貫目を施しその上に落葉及び穀殻を三尺ぐらゐに積んで其中に鶏糞を適宜に入れて置く、此の鶏糞は驅鼠剤としても有効なもので如上の操作を少なくとも五ヶ年ぐらゐ継続的に行ふことを忘れてなければ五、六年目に三月頃から目的の荷が出始めて四月になれば續生して市場へも持ち出せるし收支に於ても決して引合はぬものではないと（元）

市制記念

カメラマンに捧ぐ！

(1) 東朝主君（皇眞鏡技大会）の懸賞募集は五月二十五日が締切である。
(2) 五月十七日午後六時よりマルトモホールに於て熊谷辰男技師の「原板の作り方と引伸の秘訣」なる講演あり

（てに店當は細詳）

（3電）目丁二市平
局藥屋村西
部ラメカ

山野邊藥局
磐城平町 五丁目角
定 八〇瓦入 五十五
八〇瓦入 九十五
四十五瓦入 四十五
五十五瓦入 四十五

兼用一御婦人用傘

雨の日 曇る日 照る日

色無地 ¥2.80 ¥3.80
柄模様 ¥3.00 ¥5.00

店内に澤山陳列してございます

平4 ツルヤ 電140

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平町南町 電話二五九番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町田町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

便利で 經濟な

日下家政婦會

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です

平町字田町十八番（西村屋横町）

會員（同志）の加入を御誘ひ致します
派出不なき
賑やかに
編物を御教
授致します

日下家政婦會

會長 日下すい子
電話新設 七二三番

開院廣告

平病院（平町元共濟病院跡）
院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 醫學士 鈴木定藏
小兒科 醫學士 木下基一
一般外科 醫學士 横山喜俊
一般内科 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 醫學士 岡田重徳
物理療法科 技師 鈴木定藏
藥劑師 部長 藥劑師 吉本幸平

診察時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す（急患は此の限にあらす）

往診隨時、病室完備（入院隨時自費の便あり）

目科療診

一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒架工科
齒列矯正科、小兒齒科、歯槽膿漏科、
レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 憲次
醫學士 日本齒科 西川 誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

齒科開業

此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候

診療科目
口腔外科、補綴科、
保存科、齒列矯正科、
小兒齒科、
（其他齒科一般）

毎日晝夜診療
日曜午後休み

平町田町（藤田女學校前）
齋藤齒科醫院
齋藤 賢三

移轉お知らせ

今般スタヂオ擴張の爲め左記に移轉仕り候間從前通り御引立の程偏にお願ひ申上候

平町田町五番地（三ツ井通通り）
齋藤寫眞館
電話（平）二七二番

新いわき新聞社

一般印刷物も御引受け致します

新いわき新聞社